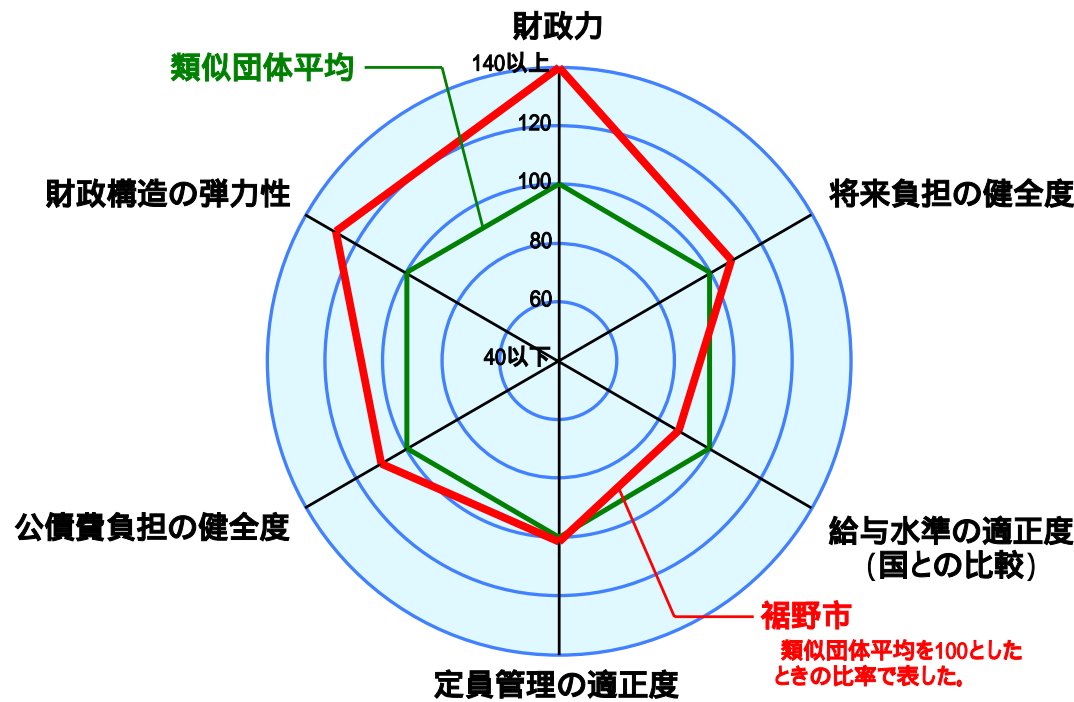
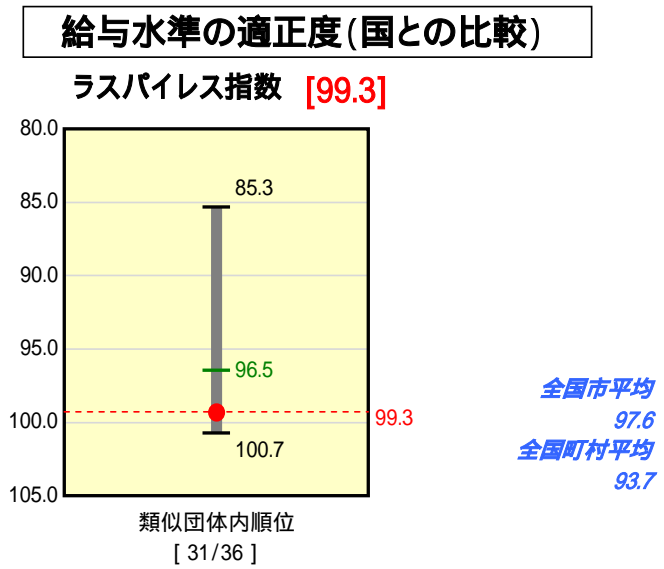
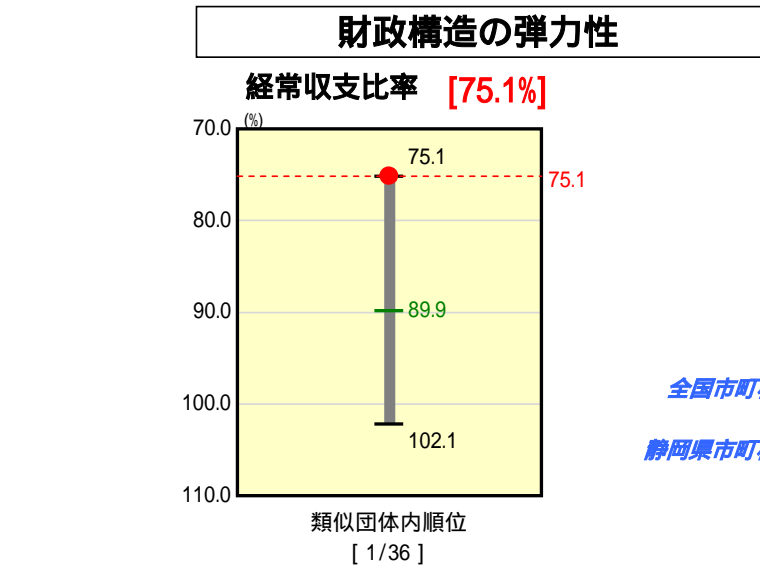
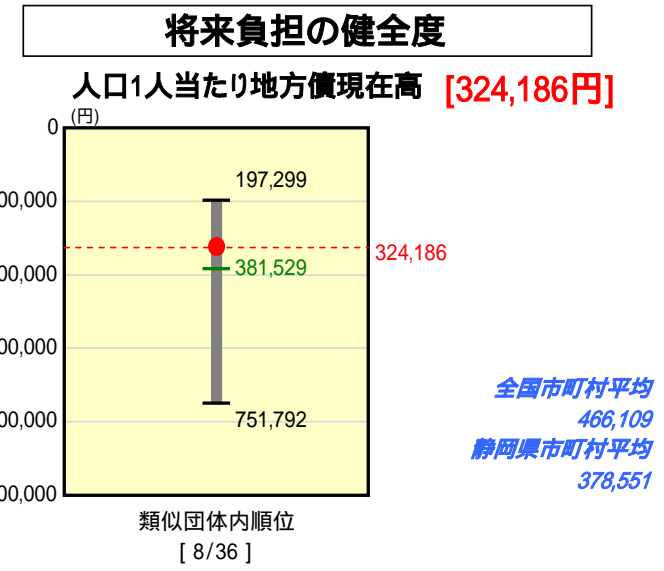
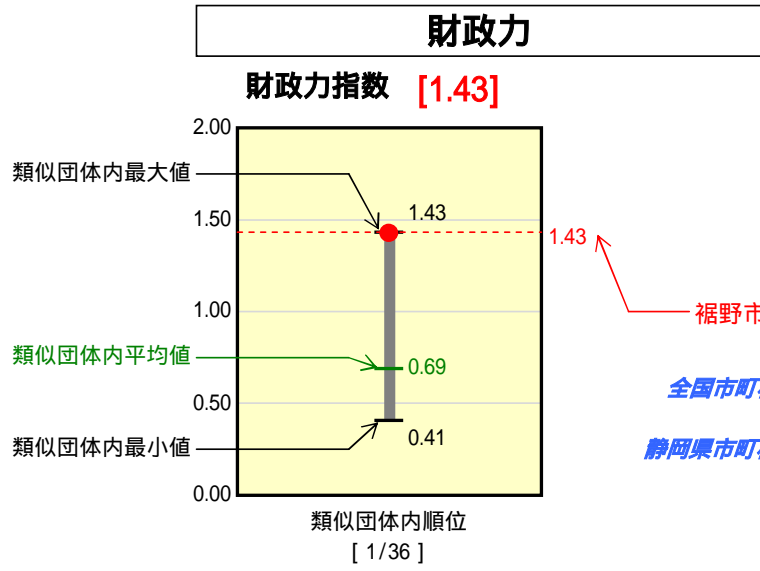


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

## 静岡県 裾野市

人口	52,625 人(H17.3.31現在)
面積	138.39 km <sup>2</sup>
歳入総額	20,743,550 千円
歳出総額	19,312,179 千円
実質収支	1,250,629 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**財政力指数**：市内の大手企業の経営状況の良好等により、類似団体を上回る税収があるため財政力が1.43となっている。現在、大手企業の本社機能の移転が行われており、平成19年度から税収増が見込まれているが、更に平成18～20年度において市北部に新工業団地を造成、新たな企業誘致を図り、財源確保に努める。

**経常収支比率**：現時点においては、類似団体平均を下回っているが、福祉関係経費等の増加により比率の悪化が今後、予想される。このため、平成18年度において全ての事業について事務事業評価を行い、事業の見直しを図り、平成19年度予算から施策別枠配分方式を実施し、より経常経費の削減に努めていく。

**ラスパイレス指数**：平成18年度から平均4.8%の給料カットを行う。又、人事考課制度導入に向け、平成18・19年度調査研究を行い、今後、年功序列的な昇給を見直す予定である。その他、手当については、平成17年度から通勤手当の一部の見直しを図っているが、平成18・19年度において更に7種類の廃止を予定している。

**起債制限比率**：平成14年度までは10%を少し上回っていたが、現在は8%台と類似団体の中でも低い数値となっている。大規模事業等や新規事業については、3年間の実施計画を毎年度、作成し、事業展開をしているところだが今後とも、緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

**人口1人当たり地方債現在高**：類似団体の中でも低い金額となっている。今まで事業の選択を行い、事業展開をしているが、今後とも事業の選択を行い、地方債現在高の縮減に努める。

**人口1,000人当たり職員数**：現在、類似団体の平均数ではあるが、平成17年度から斎場管理の委託や住民票等の自動交付機の導入を実施した。今後、より民間委託やIT化を進め、職員数を削減する予定である。定員適正化計画では、今後5年間の採用者を控え、22人の純減を図る予定である。

